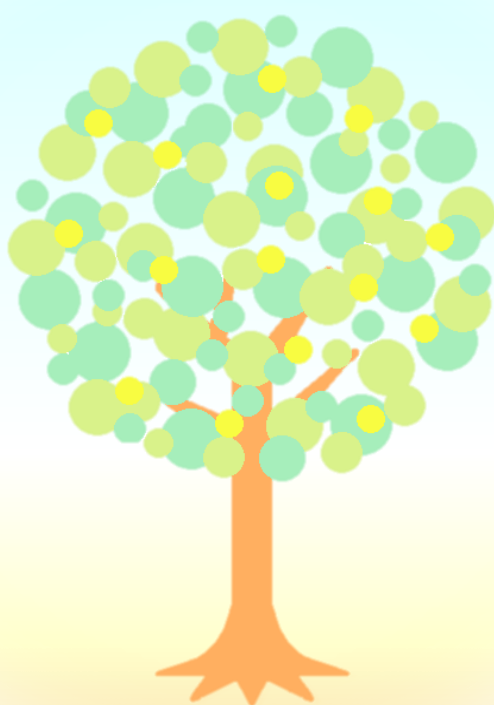


エコアクション21

環境経営レポート



〔第33期〕 令和4年9月1日～令和5年8月31日

第10版作成日 令和5年12月20日

株式会社藤浪造園

目 次

- P.1 環境経営方針
- P.2 組織の概要
- P.3 実施体制図
- P.4 環境経営目標
- P.5 環境経営計画
- P.6 取組内容
- P.8 環境経営目標の実績及び評価
- P.9 環境経営計画の取組結果及び評価
- P.10 次年度の環境経営目標及び環境経営計画
- P.11 環境関連法規等
- P.12 代表者による評価



環境経営方針

経営理念

人も自然も 豊かな未来へ



環境理念

株式会社藤浪造園は、自然の循環を尊重した健全な循環型社会の構築を目指し、緑地整備をはじめとする環境整備事業を通じて地域社会の緑化の推進に寄与し、環境に配慮した経営に努め、積極的に環境保全に取り組みます。

行動指針

- 環境負荷の低減のため、次の6つを重点的に取り組みます。
 - ・ 電気の使用量削減
 - ・ 化石燃料（軽油・ガソリン等）の使用量削減
 - ・ 廃棄物排出量の削減と適正処理
 - ・ 水使用量の削減
 - ・ 化学物質を含有する農薬使用量の削減
 - ・ 環境負荷の低減に資する工法や作業の推進
- 緑化推進、環境保全のためのボランティア活動を行います。
- 植物の魅力、環境への取り組みを発信します。
- 人材育成、職場環境改善に取り組みます。
- 環境関連法規制等を遵守します。
- 環境経営の継続的改善を図ります。

環境理念及び行動指針を全社員に周知させ、一丸となって環境経営を推進します。

制定 平成25年 9月 1日

改定 令和元年 9月 1日

株式会社藤浪造園
代表取締役 藤浪 義之



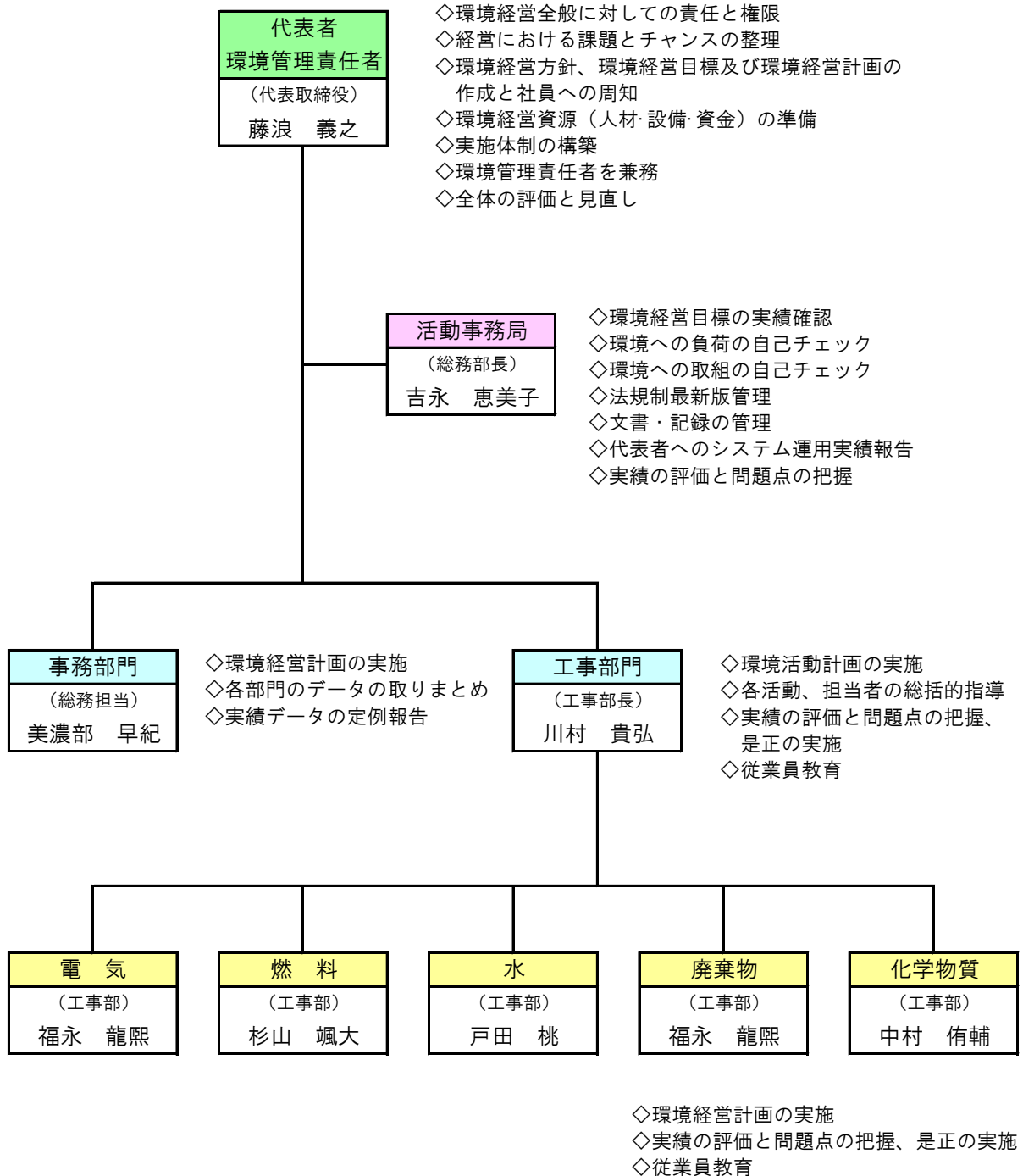
組織の概要

- 事業者名 株式会社藤浪造園
- 代表者 代表取締役 藤浪 義之
- 所在地 本 社 静岡県静岡市葵区北二丁目10番20号
資材置場 静岡県静岡市葵区有永町8番1号
TEL 054-245-9870 FAX 054-245-9918
E-mail info@fujinami-zoen.co.jp
- 事業内容 造園工事、土木工事、とび・土工工事、造園維持管理
産業廃棄物の収集運搬
- 従業員数 19 人
- 環境管理責任者 代表取締役 藤浪 義之
- 環境管理担当者 総務部長 吉永 恵美子
- 許可・登録
- 建設業許可
許可番号：静岡県知事許可（特-3）第014970号
許可期限：令和3年11月26日～令和8年11月25日
許可業種：造園

許可番号：静岡県知事許可（般-3）第014970号
許可期限：令和3年10月11日～令和8年10月10日
許可業種：土木、とび・土工
 - 静岡県産業廃棄物収集運搬許可
許可番号：第02201117551号
許可期限：令和4年8月15日～令和9年8月14日
許可品目：廃プラスチック類(石綿含有廃棄物を除く)、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有廃棄物を除く)、
がれき類(石綿含有廃棄物を除く)、紙くず、木くず、繊維くず
以上7品目
許可車両：3t移動式クレーン、3tタンク2台、塵芥車 計4台
 - エコアクション21認証・登録
認証登録番号：0010037
認証登録日：2014年5月20日
更新・登録日：2022年5月20日
有効期限：2024年5月19日
- 事業規模
- 創業 昭和45年2月1日
設立 平成2年9月5日 法人成
床面積 事務所 74㎡、資材置場 656㎡
資本金 20,000千円
事業年度 9月1日～8月31日
保有車両 3t移動式クレーン、3tタンク2台、塵芥車、トラック、バン2台、軽自動車4台 計11台

| | 第33期 R4.9～R5.8 | 第32期 R3.9～R4.8 | 第31期 R2.9～R3.8 |
|------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 売上高 | 217,987千円 | 180,110千円 | 200,026千円 |
| 従業員数 | 19 人 | 19 人 | 17 人 |
| 産業廃棄物収集運搬量 | 16.55 t | 40.32 t | 62.46 t |

実施体制図



全組織・全活動を対象とする

環境経営目標

| | | 基準値 | 短期目標 | | 中間目標 | | | |
|------------------------|---------------------------------|-----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--|--|
| | | | 第33期 R4.9~R5.8 | 第34期 R5.9~R6.8 | 第35期 R6.9~R7.8 | 第36期 R7.9~R8.8 | | |
| 二酸化炭素 | 排出量 (kg-CO ₂) | 42,754.20 | 40,188.95 | 39,761.41 | 39,761.41 | 39,333.86 | | |
| | 第26期実績 | | 増減 -6% | 増減 -7% | 増減 -7% | 増減 -8% | | |
| | 原単位 (kg-CO ₂ /100万円) | 368.57 | 346.46 | 342.77 | 342.77 | 339.08 | | |
| | 第26期実績 | | 増減 -6% | 増減 -7% | 増減 -7% | 増減 -8% | | |
| 電力 | 事務所使用量 (kWh) | 9,033 | 8,491 | 8,401 | 8,401 | 8,310 | | |
| | 第26期実績 | | 増減 -6% | 増減 -7% | 増減 -7% | 増減 -8% | | |
| | 資材置場使用量 (kWh) | 1,477 | 1,388 | 1,374 | 1,374 | 1,359 | | |
| | 第26期実績 | | 増減 -6% | 増減 -7% | 増減 -7% | 増減 -8% | | |
| | 原単位 (kWh/100万円) | 90.60 | 85.16 | 84.26 | 84.26 | 83.35 | | |
| | 第26期実績 | | 増減 -6% | 増減 -7% | 増減 -7% | 増減 -8% | | |
| 燃料 | ガソリン使用量 (L) | 5,617.58 | 5,280.53 | 5,224.35 | 5,224.35 | 5,168.17 | | |
| | 第26期実績 | | 増減 -6% | 増減 -7% | 増減 -7% | 増減 -8% | | |
| | 軽油使用量 (L) | 9,213.06 | 8,660.28 | 8,568.15 | 8,568.15 | 8,476.02 | | |
| | 第26期実績 | | 増減 -6% | 増減 -7% | 増減 -7% | 増減 -8% | | |
| | 原単位 (L/100万円) | 127.85 | 120.18 | 118.90 | 118.90 | 117.62 | | |
| | 第26期実績 | | 増減 -6% | 増減 -7% | 増減 -7% | 増減 -8% | | |
| 灯油使用量 (L) | | 36.00 | 36.00 | 36.00 | 36.00 | 36.00 | | |
| | 第29期実績 | | 増減 ±0% | 増減 ±0% | 増減 ±0% | 増減 ±0% | | |
| 水使用量 (m ³) | | 43.4 | 41.2 | 41.2 | 41.2 | 40.8 | | |
| | 第29期実績 | | 増減 -5% | 増減 -5% | 増減 -5% | 増減 -6% | | |
| 廃棄物 | 一般廃棄物リサイクル率 (%) | — | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | |
| | 産業廃棄物リサイクル率 (%) | — | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | |
| 化学物質 (農薬) 使用量 (kg) | | 2.461 | 2.313 | 2.289 | 2.289 | 2.264 | | |
| | 第26期実績 | | 増減 -6% | 増減 -7% | 増減 -7% | 増減 -8% | | |
| サービス | 緑化の推進 (件) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | | |
| | 既存の資源の活用 (件) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | | |
| | 地元生産の資源の活用 (件) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | | |
| | 効率的な工程の考案 (件) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | | |
| 地域貢献活動 (件) | | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | | |

二酸化炭素排出係数 基準値(26期)は0.518kg-CO₂/kWh(H23中部電力 実)30期から0.452kg-CO₂/kWh(H30中部電力ミライズ[※] 調)

二酸化炭素及び電力、燃料は、排出量又は使用量、若しくは原単位のどちらかが目標達成できればよいとする

化学物質使用量は、民間管理(個人邸の庭園管理、民間企業・民間施設の緑地管理等)に使用したものだけを対象とする

廃棄物収集運搬業者として排出業者への分別指導活動は、目標設定せず活動のみとする

環境経営計画

| 環境経営計画 | | 実施時期 | | 担当者 |
|---------------------------|--------------|-------|------------|-------|
| 電力 | | | | |
| エアコンの適切な使用、清掃 | | 夏季・冬季 | 夏季、冬季に注意喚起 | 吉永 |
| こまめな消灯、LED電灯への切り替え | | 常時 | | |
| クールビズ、ウォームビズの心掛け | | 夏季・冬季 | 夏季、冬季に注意喚起 | 小長井 |
| 毎週水曜日はノー残業、その他の曜日原則21時まで | | 常時 | 4月はノー残業月間 | |
| 燃料（ガソリン・軽油） | | | | |
| エコドライブの心掛け | | 常時 | 繁忙期は注意喚起 | 水流/中村 |
| 効率的な交通移動の確認（荷物・ルート） | | 常時 | | |
| 車両、重機の適正な点検、整備 | | 常時 | | 遠藤 |
| ICT活用の推進による交通移動の削減 | | 常時 | | |
| 灯油 | | | | |
| 灯油ストーブは早めに消火し、余熱の有効活用 | | 冬季 | | 水流 |
| 水 | | | | |
| 節水の心掛け | | 常時 | 冬季は特に注意喚起 | 和田 |
| 雨水の活用 | | 常時 | | |
| 定期的なメーターの動作確認 | | 毎月 | メーター測定時に実施 | |
| 一般廃棄物 | | | | |
| 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の心掛け | | 常時 | | 吉永 |
| 社内文書のデータ化 | | 常時 | | |
| 産業廃棄物 | | | | |
| 分別の徹底 | | 常時 | | 前田 |
| マニフェストの適正な運用管理 | | 常時 | 6月実績報告 | 前田/吉永 |
| 刈草、木くずの有効活用方法の検討 | | 常時 | | 藤浪 |
| 排出業者への分別指導（収集運搬業者として） | | 常時 | | 前田 |
| 化学物質（農薬） | | | | |
| 適正な使用量の確認、過剰散布の禁止 | | 常時 | | 水流 |
| 適正な使用、保管の徹底 | | 常時 | | |
| サービス（環境に配慮した工法の提案） | | | | |
| 植栽、緑化の施工割合の増加の提案 | | 随時 | | 藤浪/川村 |
| 既存資源の再利用、有効利用の提案 | | 随時 | | |
| 地元で生産された資源の優先利用の提案 | | 随時 | | |
| 効率的に業務ができる工程を提案 | | 随時 | | |
| 地域貢献活動 | | | | |
| 地域貢献活動への参加 | | 随時 | | 川村 |
| その他 | | | | |
| 労働能率向上 | 軽自動車購入 | 9月～ | | 藤浪/吉永 |
| | バックホー更新 | 9月～ | | 藤浪 |
| | PC追加購入 | 9月～ | | 吉永 |
| BCP | 防災マニュアルの策定 | 9月～ | | 吉永 |
| | 防災用品の整備 | 11月頃 | | 吉永 |
| 人材確保、人材育成 | 人材確保及び計画的な育成 | 9月～ | | 藤浪/吉永 |
| | 定期的な教育訓練の実施 | 毎月 | | 吉永 |
| 情報発信 | HP更新 | 毎月 | | 吉永 |

取組内容①

| | 電 気 | 燃 料 | 廃棄物 | 農 業 | その他環境活動 |
|----------|-------------------------------------|--|---|-----------------------------|--|
| | ・簡易点検 ・エアコンフィルター | ・車両購入等 ・車両・重機整備 | ・収集運搬許可 ・マニフェスト報告 | ・緊急事態訓練 | ・ボランティア・地域貢献活動→☺ ・教育訓練(回覧・訓練・勉強会)→☺ ・その他の活動 |
| R4 9月 | | | | | ☑定例会(熱中症対策・コロナ対策)(9/2) ☑静岡市都市局防災訓練(市造協)(9/1) ・チェーンソー取扱作業者講習(中)(9/14~16) ・玉掛技能講習(香)(9/27~29) |
| 10月 | | ユニック整備(10/31) | | | ☑定例会(災害時の出勤体制)(10/3) ☑安全大会(市造協)(10/3) ☺サクラタテ観察会準備(10/6~15) ・小型車両系建設機械特教(水)(10/12.13) |
| 11月 | エアコン簡易点検(11/4) | ハッカ車整備(11/1) 軽トラ1140購入(11/2) 軽トラ5598廃車(11/2) ホンゴ車検(11/2) キャラバン車検(11/18) | | | ☑定例会(車両の整備・点検)(11/1) ☑雇入時教育(福)(11/16) ☺秋の園芸市(市造協)(11/4.5.6) |
| 12月 | エアコンフィルター清掃(12/29) | ダンブ4308車検(12/2) ホンゴ整備(12/21) | | | ☑定例会(エコライフ)(12/5) ☑EA環境経営レポート回覧(12/20) |
| R5 1月 | | 白バン整備(1/19) 軽トラ1140整備(1/19) ダンブ3453整備(1/20) | | | ☑定例会(環境経営方針等)(1/5) ・知識技能講習会(県造協)(1/27) |
| 2月 | エアコン簡易点検(2/2) | ユニック整備(2/3) ダンブ4308整備(2/15) ハッカ車車検(2/16) ダンブ3453車検(2/28) | | | ☑定例会(個人面談・圃場整備)(2/2) ・公共緑化技術研修会(県造協)(2/7) |
| 3月 | | ユニック車検(3/2) 白バン整備(3/13) バックホ・買換え(3/13) | | | ☑定例会(圃場整備・若手実技訓練)(3/5) ・緑化リスクマネジメント講習(義曲中大)(3/1) ・刈払機取扱特別教育(福)(3/3) ☺麻機遊水地外来種除去(3/15) ・伐木講習(長)(3/28~30) |
| 4月 | ノ残業月間(4/1~30) | ダンブ3453整備(4/14) ユニック整備(4/15) キャラバン整備(4/21) | | 農業保管庫整理(4/6) 緊急事態訓練(4/6) | ☑雇入時教育(笠)(4/3) ☑定例会(電帳法・勤怠システム)(4/3) ●EA中間審査(4/13) ☺春の園芸市(市造協)(4/16) ☑定例会(個人面談・工具の取扱)(4/26) |
| 5月 | エアコン簡易点検(5/9) | ホンゴ6ヶ月点検(5/8) 軽トラ2941車検(5/24) | 委託先現地確認(5/12) マニフェスト状況・ 収集運搬報告(県・市)(5/23) | | ・フルハネス特別教育(遠中大杉戸)(5/1.29) ・刈払機取扱特別教育(笠)(5/2) ・京都庭園文化視察研修旅行(5/14.15) ・芝生管理講座(曲笠)(5/19) ☺麻機遊水地クリン作戦(5/20) ・職長安衛責任者能力向上教育(川)(5/31) |
| 6月 | | ライトエス整備(6/6) 軽箱 12ヶ月点検(6/28) | | | ☑定例会(コロナ5類対応・安全管理)(6/2) ・高所作業車技能講習(中)(6/15.16) ・ツリクライミング(和水香中大杉福)(6/19~21) ・芝生管理講座(曲)(6/23) ・元請安全大会(川中戸福)(6/23) ・街路樹管理技術講習(中)(6/28) |
| 7月 | | 軽トラ1140整備(7/19) | | | ☑定例会(熱中症対策・蜂対策)(7/4) ・IT講習会(遠)(7/6) |
| 8月 | エアコン簡易点検(8/10) エアコンフィルター清掃(8/10) | ライトエス車検(8/3) キャラバン6ヶ月点検(8/9) ハッカ6ヶ月点検(8/22) 白バン車検(8/29) ユニック6ヶ月点検(8/30) 軽タン車検(8/31) | | | ☑定例会(工具の管理)(8/3) ・専門学校生インターンシップ受入れ(8/7~10) ・元請安全大会(8/3) |

取組内容②



当社は、**SDGs（持続可能な開発目標）**の取組みを進めています。

環境負荷の低減のための取組みの他、地域の自然環境の保全、従業員の能力向上、働きやすい職場づくり、女性活躍推進などにも力を入れています。私たちの仕事を通じて、SDGsの達成に貢献します。

麻機遊水地でのボランティア活動

麻機遊水地は、大雨による巴川下流の水害を防ぐための貯留施設です。私たちの暮らしを守る重要な役割を担う一方で、平時には豊かな自然環境を楽しむことができます。当社は麻機遊水地からほど近く、以前から地域の皆さんと一緒に自然環境保全の活動に積極的に取り組んできました。これからも、地域社会の活性化や自然環境の保全に貢献していきます。

【サクラタデ観察会のお手伝い】



毎年秋に行われるサクラタデ観察会の会場設営、運営のお手伝いをしました。周辺に生息しているガマで水屋を作りました。観察会当日には、周辺に生息する魚類やその生息環境について紹介、解説しました。

【オニバス自生地の外来植物除去】



外来植物を取り除くことで、絶滅危惧種であるオニバスの生息環境を守ります。

【クリーン作戦】



麻機遊水地保全活用推進協議会や地域の方々と共に、クリーン作戦を行いました。景観を良くするだけでなく、貯水能力の維持、生物多様性の保全にもつながります。

緊急事態対応訓練

年に一度、火災発生時及び農業等危険物流出時の対応の確認、初期消火訓練、危険物の点検等を行っています。



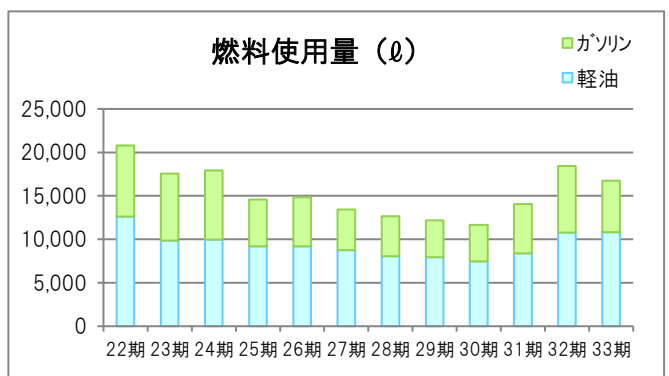
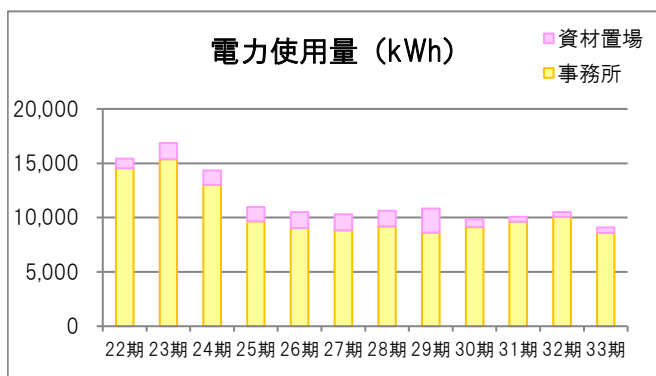
台風15号災害復旧（緊急出動）

令和4年9月の台風15号では、当社の近隣で土砂災害が発生し、住宅地の道路が土砂であふれて通行できなくなりました。休日でしたが、動ける社員はすぐに出動して応急的に土砂を集めて撤去しました。地域の災害時に、こうしてすぐに対応できることが当社の自慢です。



環境経営目標の実績及び評価

| | | 第33期 (R4.9月～R5.8月) | | | | | |
|------------------------|---------------------------------|--------------------|-----------|---------|--|--|--|
| | | 目標 | | 実績 | | 評価 | |
| 二酸化炭素 | 排出量 (kg-CO ₂) | 40,188.95 | 45,824.97 | ○ | 排出量は目標未達成だが、原単位は目標達成 | | |
| | 増減 | -6% | 増減 7.1% | × | | | |
| | 原単位 (kg-CO ₂ /100万円) | 346.46 | 211.18 | ○ | 燃料使用量の増加により排出量は増加してしまっただが、原単位では大幅に削減することができている。 | | |
| | 増減 | -6% | 増減 -42.7% | ○ | | | |
| 電力 | 事務所使用量 (kWh) | 8,491 | 8,607 | ○ | 事務所使用量は目標未達成だが、資材置場使用量と原単位は目標達成 | | |
| | 増減 | -6% | 増減 -4.7% | △ | | | |
| | 資材置場使用量 (kWh) | 1,388 | 493 | ○ | 事務服の支給やサーキュレーターの導入、こまめな節電により使用量は削減できている。原単位では目標より大幅に削減することができているので、効率的な使用ができていたと言える。 | | |
| | 増減 | -6% | 増減 -66.6% | ○ | | | |
| | 原単位 (kWh/100万円) | 85.16 | 41.94 | ○ | | | |
| | 増減 | -6% | 増減 -53.7% | ○ | | | |
| 燃料 | ガソリン使用量 (L) | 5,280.53 | 5,921.89 | ○ | ガソリン使用量、軽油使用量は目標未達成だが、原単位は目標達成 | | |
| | 増減 | -6% | 増減 5.4% | × | | | |
| | 軽油使用量 (L) | 8,660.28 | 10,824.87 | × | ガソリン、軽油共に使用量としては目標が達成できていないが、原単位では目標より大幅に削減することができているので、効率的な使用ができていたと言える。 | | |
| | 増減 | -6% | 増減 17.5% | × | | | |
| | 原単位 (L/100万円) | 120.18 | 77.17 | ○ | | | |
| | 増減 | -6% | 増減 -39.6% | ○ | | | |
| | 灯油使用量 (L) | 36.00 | 18.00 | ○ | 資材置場に長時間滞在するとき以外はストーブの使用を控えるようにし、目標を達成することができた。 | | |
| | 増減 | ±0% | 増減 -50.0% | ○ | | | |
| 水使用量 (m ³) | | 41.2 | 38.2 | ○ | 目標を達成することができた。 | | |
| | 増減 | -5% | 増減 -12.0% | ○ | | | |
| 廃棄物 | 一般廃棄物 | 排出量 (t) ※草枝葉除 | — | 0.389 | ○ | 適切に分別、処分することができた。 | |
| | | リサイクル率 (%) | 100.0% | 100.0% | ○ | | |
| | 産業廃棄物 | 排出量 (t) | — | 150.141 | ○ | 廃プラ、廃石綿等、やむを得ず最終処分にするもの以外は、適切に分別、処分することができた。 | |
| | | リサイクル率 (%) | 100.0% | 98.9% | △ | | |
| 化学物質 (農薬) 使用量 (kg) | | 2.313 | 1.198 | ○ | 今年も害虫の発生が少なかったため、使用量を抑えることができた。 | | |
| | 増減 | -6% | 増減 -51.3% | ○ | | | |
| サービス | 緑化の推進 (件) | 3 | 2 | ○ | 緑化の推進は少なかったが、他3つは達成できた。 | | |
| | 増減 | — | 増減 -1 | × | | | |
| | 既存の資源の活用 (件) | 3 | 3 | ○ | 適切に取り組むことができた。日常的に行っているささいな取組みを入れればもっと件数は多くなるが、集計が困難になってしまう。目標に設定している項目以外の活動もあるので、目標設定そのものを見直していきたい。 | | |
| | 増減 | — | 増減 ±0 | ○ | | | |
| | 地元生産の資源の活用 (件) | 3 | 11 | ○ | | | |
| | 増減 | — | 増減 8 | ○ | | | |
| | 効率的な工程の考案 (件) | 3 | 3 | ○ | | | |
| | 増減 | — | 増減 ±0 | ○ | | | |
| 地域貢献活動 (件) | | 6 | 6 | ○ | 適切に取り組むことができた。 | | |
| | 増減 | — | 増減 ±0 | ○ | | | |



環境経営計画の取組結果及び評価

| 環境経営計画 | | 結果 | 評価 |
|---------------------------|--------------------------|----|---|
| 電力 | | | |
| | エアコンの適切な使用、清掃 | ○ | サーキュレータの導入、エアコンのフィルター清掃、節電の声掛け等、適切に取り組むことができた。 |
| | こまめな消灯、LED電灯への切り替え | ○ | |
| | クールビズ、ウォームビズの心掛け | ○ | |
| | 毎週水曜日はノー残業、その他の曜日原則21時まで | ○ | |
| 燃料（ガソリン・軽油） | | | |
| | エコドライブの心掛け | ○ | 車両や機械の不具合等はLINEや定例会で共有し、常に適正な管理、整備を行っている。コミュニケーションを密にとり、仕事や移動の無駄が減るように心掛けている。 |
| | 効率的な交通移動の確認（荷物・ルート） | ○ | |
| | 車両、重機の適正な点検、整備 | ○ | |
| | ICT活用の推進による交通移動の削減 | ○ | |
| 灯油 | | | |
| | 灯油ストーブは早めに消火し、余熱の有効活用 | ○ | 適切に取り組むことができた。 |
| 水 | | | |
| | 節水の心掛け | ○ | 適切に取り組むことができた。 |
| | 雨水の活用 | ○ | |
| | 定期的なメーターの動作確認 | ○ | |
| 一般廃棄物 | | | |
| | 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の心掛け | ○ | 適切に取り組むことができた。 |
| | 社内文書のデータ化 | ○ | |
| 産業廃棄物 | | | |
| | 分別の徹底 | ○ | どうしても最終処分になってしまうものもあるが、それ以外は適切に分別、処分することができた。あさはた緑地での刈草の堆肥化も引き続き行っていく。 |
| | マニフェストの適正な運用管理 | ○ | |
| | 刈草、木くずの有効活用方法の検討 | ○ | |
| | 排出業者への分別指導（収集運搬業者として） | ○ | |
| 化学物質（農薬） | | | |
| | 適正な使用量の確認、過剰散布の禁止 | ○ | 適切に取り組むことができた。 |
| | 適正な使用、保管の徹底 | ○ | |
| サービス（環境に配慮した工法の提案） | | | |
| | 植栽、緑化の施工割合の増加の提案 | ○ | 適切に取り組むことができていますが、集計が難しく、小さな提案等は拾いきれない。取組み内容を見直す。 |
| | 既存資源の再利用、有効利用の提案 | ○ | |
| | 地元で生産された資源の優先利用の提案 | ○ | |
| | 効率的に業務ができる工程を提案 | ○ | |
| 地域貢献活動 | | | |
| | 地域貢献活動への参加 | ○ | 適切に取り組むことができた。 |
| その他 | | | |
| 労働能率向上 | 軽自動車購入 | ○ | 計画通りに実施した。 |
| | バックホー更新 | ○ | 計画通りに実施した。 |
| | PC追加購入 | ○ | 計画通りに実施した。 |
| BCP | 防災マニュアルの策定 | △ | 大筋はできている。 |
| | 防災用品の整備 | ○ | 大掃除に合わせて点検した。 |
| 人材確保、人材育成 | 人材確保及び計画的な育成 | ○ | 計画通りに実施した。 |
| | 定期的な教育訓練の実施 | ○ | 定例会で適切に取り組むことができた。 |
| 情報発信 | HP更新 | ○ | 適宜新しい情報に更新した。 |

次年度の環境経営目標及び環境経営計画

| | | 第34期 (R5.9~R6.8) | | | |
|------------------------|---------------------------------|------------------------|----------------------|-------|-----|
| | | 環境経営目標 | 環境経営計画 | 実施時期 | 担当 |
| 二酸化炭素 | 排出量 (kg-CO ₂) | 48,709.86 | | | |
| | | 第32期より-2% | | | |
| | 原単位 (kg-CO ₂ /100万円) | 270.60 | | | |
| | | 第32期より-2% | | | |
| 電力 | 事務所使用量 (kWh) | 9,867 | エアコンの適切な使用、清掃 | 夏季・冬季 | 美濃部 |
| | | 第32期より-2% | こまめな消灯、LED電灯への切り替え | 常時 | 美濃部 |
| | 資材置場使用量 (kWh) | 439 | クールビズ、ウォームビズの心掛け | 夏季・冬季 | 吉永 |
| | | 第32期より-2% | 毎週水曜日はノー残業デー | 常時 | 小長井 |
| | 原単位 (kWh/100万円) | 57.25 | | | |
| | | 第32期より-2% | | | |
| 燃料 | ガソリン使用量 (L) | 7,501.34 | エコドライブの心掛け | 常時 | 杉山 |
| | | 第32期より-2% | 効率的な移動方法の確認 (荷物・ルート) | 常時 | 杉山 |
| | 軽油使用量 (L) | 10,567.53 | 車両、重機の適正な点検、整備 | 随時 | 杉山 |
| | | 第32期より-2% | ICT活用の推進による打合せ移動の削減 | 常時 | 遠藤 |
| | 原単位 (L/100万円) | 100.38 | | | |
| | | 第32期より-2% | | | |
| 灯油使用量 (L) | 18.00 | 灯油ストーブの適切な使用 | 冬季 | 杉山 | |
| | 第32期より±0 | | | | |
| 水使用量 (m ³) | 第31期より-2% | 42.7 | 節水の心掛け | 常時 | 戸田 |
| | | | 雨水の活用 | 常時 | 戸田 |
| | | | 定期的なメーター動作の確認 | 毎月 | 戸田 |
| 廃棄物 | 一般廃棄物リサイクル率 (%) | 100.0% | 3Rの推進 | 常時 | 吉永 |
| | | | 社内文書のデータ化 | 9月~ | 美濃部 |
| | 産業廃棄物リサイクル率 (%) | 100.0% | 分別の徹底 | 常時 | 福永 |
| | | | マニフェストの適正な運用管理 | 常時 | 福/美 |
| 刈草、木くずの有効活用方法の検討 | | | 9月~ | 藤浪 | |
| | | 排出業者への分別指導 (収集運搬業者として) | 随時 | 福永 | |
| 化学物質 (農薬) 使用量 (kg) | 第31期より-2% | 1.803 | 過剰散布の禁止 | 常時 | 中村 |
| | | | 適正な保管の徹底 | 常時 | 中村 |
| 地域貢献活動 (件) | | 6 | 自然環境保全に関する地域貢献活動 | 随時 | 藤浪 |
| その他 | 労働能率向上 | | PC、CADソフト更新 | 10月 | 美濃部 |
| | | | パッカー車追加購入 | 1月 | 前田 |
| | BCP | | BCP策定 | 4月~ | 吉永 |
| | | | 防災用品の点検・更新 | 11月頃 | 吉永 |
| | 人材育成 | | 人材確保及び育成 | 9月~ | 藤/吉 |
| | | | 定例会での教育訓練 | 毎月 | 川村 |
| 情報発信 | | | HP更新 | 毎月 | 吉永 |

二酸化炭素排出係数 0.388kg-CO₂/kWh(2021中部電力ミライズ[※]/調整後)

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

確認日 令和5年8月31日

| | | |
|-----|-----|-----|
| 代表者 | 工事部 | 事務局 |
| | | |

| 法規制等の名称 | 適用項目 | 手続き・遵守事項 | 確認 | |
|----------------------|------------------------------------|--|----|-----------|
| 廃棄物処理法 | 産業廃棄物収集運搬業許可 | ・5年毎の更新 | ○ | 適正 |
| | 収集運搬及び処分業者との委託契約 | ・書面での適正な契約の締結 ・業者の許可内容の確認 | ○ | 適正 |
| | マニフェストの交付・運用・保存 | ・交付状況の記録 ・管理票交付状況報告書の提出（静岡県） ・排出業者へ90日以内の返送 ・5年間の保存 | ○ | 適正 |
| | 投棄・焼却禁止 | ・不法投棄・焼却を行わない | ○ | 適正 |
| 静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例 | 産業廃棄物の運搬実績の報告 | ・収集運搬実績報告書の提出 | ○ | R5.5/23提出 |
| | 委託先の処理状況の現地確認 | ・現地確認 | ○ | R5.5/12実施 |
| 建設リサイクル法 | 特定建設資材の分別解体・再資源化等の実施 | ・書面での計画説明、報告 ・契約書へ費用等を明記 | ○ | 該当2件 |
| 騒音規制法 | 特定建設作業（杭打機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等）の実施の届出 | ・事前に市町村へ届け出 | ○ | 該当0件 |
| 振動規制法 | 特定建設作業（杭打機、鋼球、舗装版破砕機、ブレイカ等）の実施の届出 | ・事前に市町村へ届け出 | ○ | 該当0件 |
| 農薬取締法 | 無登録農薬の使用の禁止 | ・登録内容の確認 | ○ | 適正 |
| | 農薬使用基準の遵守 | ・農薬の有効期限の厳守 ・使用状況、保管状況の記録 | ○ | 適正 |
| 家電リサイクル法 | 家電4品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機）消費者としての役割 | ・引取業者への引渡し ・廃棄時にリサイクル料金等を負担 | ○ | 該当0件 |
| 自動車リサイクル法 | 自動車所有者としての役割 | ・引取業者への引渡し ・購入時にリサイクル料金を負担 | ○ | 該当2件 |
| フロン排出抑制法 | 空調室外機のフロン漏洩点検 | ・簡易点検（四半期に一度） | ○ | 室外機2台 |

上記法規制等について遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

過去3年にわたり、関係機関からの指導、利害関係者からの訴訟や苦情はありませんでした。

代表者による評価

| 前回の見直しの指示に対する取組結果 | |
|---|--|
| 前回の見直しの指示 | ①環境経営目標 二酸化炭素排出量も原単位と併せて評価すること。 ②実施体制 若手社員を積極的に環境経営計画に関わらせること。 |
| 指示に対する取組みと運用結果 | ①環境経営目標 二酸化炭素排出量も、使用量及び原単位で評価することにした。その結果、原単位では大きく削減できていることが明確になった。 ②実施体制 若手社員を燃料や産廃の担当につけ、先輩社員が教育を行った。その結果、双方が環境経営の知識を深めることができた。 |
| 個別評価 | |
| 環境経営目標の達成状況 | いずれの目標も達成できた。 |
| 環境経営計画及び運用結果 | 適切に取り組んだ。 |
| 環境関連法規等の遵守状況 | 違反、訴訟等はなかった。 |
| 外部からの環境に関する苦情や要望 | 苦情、要望等はなかった。 |
| 実施体制 | 適切な体制がとれている。 |
| その他 | — |
| 全体評価 | |
| 当期は市外等遠方の現場が多かったため移動による燃料使用量が突出してしまっただが、仕事の内容としては今後の会社発展に十分貢献するものであり、社員が多くを学べる場にもなった。今後も環境負荷と会社経営のバランスを上手くとりながら、環境経営の取組みを発展させていく。 | |

| 見直しの指示 | |
|--------|--|
| 環境経営方針 | — |
| 環境経営目標 | 基準値が7年前の実績のため、もっと最近の実績を基準値にすること。 |
| 環境経営計画 | サービス（環境に配慮した工法の提案）は、今後当社が力を入れていきたい自然環境保全に関するものとし、目標と共に取組み内容も掘り下げて設定すること。 |
| 実施体制 | — |
| その他 | — |

令和5年12月20日

株式会社藤浪造園
代表取締役 藤浪義之